

第 41 回国立大学リハビリテーション療法士学術大会誌 投稿規定

1. 本誌の目的はリハビリテーション分野の研究、症例報告等を公表し国民保健の発展に寄与する。リハビリテーションの発展に関する記録や資料を掲載する。
2. 本誌への投稿は本会の会員に限る。筆頭著者は本会員に限る。共同著者が非会員の場合は学会長の判断とする。
3. 論文の採否については査読を行い査読者、学術部の意見、学会長において決定する。査読の結果、修正を求められた場合は修正再提出すること。
4. 記事の種類は以下の 3 種類から選択してください。
 - ① 原著:新規性および独創性があり明確な結論を示した論文。原稿字数:8000 字以内。
 - ② 症例報告:症例の臨床的問題や治療結果について科学的に研究および考察を行った論文。原稿字数:5000 字以内。
 - ③ 報告:原著ほどの独創性は求めないがリハビリテーションの発展に寄与する研究報告。原稿字数:5000 字以内。
5. タイトル、所属、著者、本文の順に作成して下さい。フォントは下記を参照してください。図表・写真は1枚を400 字と数えます。機種依存文字、外字は使用しないで下さい。Word2007 以降のバージョンで開くことが可能な状態で保存してください。

フォント	日本語	英数字	ポイント
タイトル	MS ゴシック	Arial	16
所属、著者	MS ゴシック	Arial	12
本文	MS 明朝	Century	10

6. 図表は文字原稿とは別とし、表は Excel で作成、写真は JPEG 形式(350dpi 以上を推奨)でお願いいたします。図表は掲載順に図表番号題名を記載したリストを作成して添付して下さい(テキストまたは Excel 形式)。印刷は白黒になるため画像データはあらかじめコントラストのはっきりしたものをお願いします。
7. 原稿の提出は E メールによる添付で学会学術部までお願いいたします。
8. ヘルシンキ宣言に沿った研究であることをご確認下さい。特にプライバシーの侵害や人体に影響を与える研究に関しては、対象者に説明と同意を得たことを本文中に明記して下さい。また、レントゲン撮影や侵襲を伴う研究方法がなされた場合は、論文中にそれを施行した人の職種を明記して下さい。なお、執筆者の所属する機関の倫理委員会で承認された研究である場合は、その旨を論文中に記載して下さい。
9. 投稿に際しては、利益相反に関する情報開示が必要

です。本文の最後(引用文献の前)に「利益相反」と見出しを付けて記載してください。著者全員に利益相反が無い場合は、「開示すべき利益相反はない」と記載し、利益相反のある著者がいる場合は、その氏名とその利益相反について全て列挙してください。

10. 論文の著作権(著作権法 27 条 翻訳権、翻案権等 28 条 二次的著作物の利用に関する原作者の権利)は、当協議会に帰属させていただきます。当協議会は、当該論文等の全部または一部を、当学会ホームページ、当学会が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において任意の言語で掲載、出版(電子出版を含む)出来るものとします。
11. 投稿原稿は他紙に発表、または投稿中の原稿でないこと。本誌規程に従って作成すること。
12. 引用文献は本文の引用順に並べ、雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、西暦年号、巻、頁(最初-最終)の順に書き、単行本の場合は著者氏名、書名、編集者名、発行所名、発行地、西暦年号、頁を記載して下さい。文献の省略は公の省略法(Index Medicus など)に従って下さい。引用文献の著者氏名が 3 名以上の場合は最初の 2 名を記載して下さい。
 - 1) 宮本謙三, 竹林秀晃, 他:加齢による敏捷性機能の変化過程—Ten Step Test を用いて—. 理学療法学. 2008; 35: 35-41.
 - 2) Tompkins J, Bosch PR, et al.: Changes in Functional Walking Distance and Health-Related Quality of Life After Gastric Bypass Surgery. Phys Ther. 2008; 88: 928-935.
 - 3) 信原克哉:肩—その機能と臨床—(第 3 版). 医学書院, 東京, 2001, pp156-168.
 - 4) Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap4. In: Morrissy RT and Weinstein SL (eds): Lovelland Winters Pediatric Orthopaedics. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006, pp97-112.
 - 5) 名郷直樹:EBM の現状と課題, エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際. 内山靖(編), 医歯薬出版, 東京, 2008, pp18-38.
 - 6) <http://www.who.int/classifications/icf/site/icfcmplate.cfm>(参照 2007-05-19)
13. 数量の単位は、国際単位系(SI 単位)を用いて下さい。
14. 略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載して下さい。
15. 機器名は、「一般名(会社名、製品名)」で表記し、統計ソフトは「製品名、バージョン番号」として下さい。